

〔岡崎 晋議員 登壇〕

○3番 岡崎 晋君 感染症対策で、この質問席のすぐ隣、一番前から後ろに移って、違う眺めを感じております。体格のよろしい新垣教育長から4メートル離れて、プレッシャーの和らぎも感じております。一括質問で、一括答弁をいただいて、後ほど一つずつ伺っていききたいと思います。

まず大きな1番目、南風原中央線役場前の分離帯について。これは（1）から（7）まで、現状のまま、あるいは閉じる場合について伺っております。前置きがないのですが、文面で察していただきたいと思います。（1）南風原中央線役場前の中央分離帯設置につき、町は南部土木事務所に対してどう対応してきたか。（2）南風原小学校正門前、幼稚園もございしますが、交差点（以下「同交差点」と言います）閉鎖で町民の役場駐車場利用はどう変わるか。（3）付近住民にどんな影響が生じるか。（4）付近住民と町側は合意形成できているか。（5）歩車分離式信号についてどう考えるか。（6）同交差点存続で横断歩行者の安全は確保できると考えるか。（7）同交差点を存続すべきと考えるか。

大きな2番目、新型コロナウイルス感染症の影響等について。（1）高齢者のフレイル・介護予防対策にどう取り組んでいるか。（2）高齢者のインフルエンザ予防接種をどう促進するか。（3）失業者対策で、どの職種で何人採用したか。（4）はえるん商品券の利用状況はどうか。

大きな3番目、古紙回収と処分について。家庭ごみと書きましたが、すみません、家庭の資源ごみと書き換えていただきたいと思います。（1）家庭からの古紙や段ボール等の回収と処分状況はどうか。（2）家庭から古紙等がごみとして出されていないか。（3）処分費用が有料となった場合の対策はどうか。この（3）は家庭から回収業者へ持ち込んだ場合のことを伺っております。以上、ご答弁をお願いいたします。

○議長 玉城 勇君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項1点目の南風原町中央線役場前の分離帯について、（1）についてお答えいたします。小学校前交差点について、平成10年度当初は、中央分離帯を閉じるということで都市計画が決定されました。その後、平成18年度に、平成16年度の南風原町街並みデザインワークショップの提言を受け、中央分離帯を開口するという案で、都市計画が変更されました。平成28年度、道路管理者の県と県公安委員会の交差点協議で閉口する方針となりましたが、町としましては、一貫して開口に向け南部土木事務所と協議を重ねております。

（2）についてお答えします。国道329号兼城方面から来庁の際、小学校前交差点で役場正面玄関へ進入ができなくなることから、役場前交差点にてUターン、または右折により町民広場駐車場への進入となります。西側駐車場方向から出る際は、右折ができないため、喜屋武方向へは池原交差点でUターンとなり、特に西側駐車場の利便性が低下することになります。

（3）についてお答えします。中央分離帯が閉口されることにより、町道54号線沿線の地域住民は県道からの出入りが制限され、利便性が大きく低下いたします。また、池原交

差点及び役場前交差点でのＵターン車両が増加することで、交差点内での危険が増すことが考えられます。さらに、分断されることにより地域の一体感が薄れ、生活環境に影響が出るものと考えます。

(４)についてお答えします。平成16年度、町は地域住民と街並みデザインワークショップを５回開催し、役場前はみんなの庭として演出を図るよう報告書をまとめ、県に提言をいたしました。また、令和２年９月11日に、各種団体から町長宛てに南風原小学校前交差点の中央分離帯の開口に関する要請書が提出され、それを受け町は、沖縄県知事に中央分離帯の開口の要請を行っており、付近住民との意見は一致しております。

次に(５)と(６)については関連しますので一括してお答えします。歩車分離式信号は、交差点の自動車等を全て停止させ、その間に歩行者等を横断させることから、自動車等と歩行者等が交差することがなくなることから、交通の安全を確保するために最も有効な制御方式と考えております。

(７)についてお答えします。同交差点を中央分離帯開口のまま存続すべきと考えております。

質問事項２点目の新型コロナウイルス感染症の影響等についてお答えします。介護予防事業担当及び地域包括支援センターの保健師・看護師・運動指導士及び町社協の在宅介護支援センター職員が、独居高齢者及び高齢者のみの世帯等を電話または訪問し、健康状態や生活状況の確認を行うとともに、新型コロナウイルス感染予防、熱中症予防、フレイル予防の資料を配布しながら情報提供を行っています。地域ミニデイサービス利用者については、担当スタッフにより電話での安否確認や訪問を実施しています。

(２)についてお答えします。対象者へ個別に通知するほか、町ホームページ、LINE、広報誌等を活用し周知してまいります。

(３)についてお答えします。一般事務職員を２名採用しています。

(４)についてお答えします。はえるん商品券の販売率は100％であります。既に完売いたしております。事業者の現金への換金率は、先週９月25日時点で58％であります。

質問事項３点目の古紙回収と資源ごみの処分についてお答えします。(１)についてお答えします。家庭から排出された古紙類の処分状況について、令和２年４月から８月の間で回収した古紙量は26万7,320キロ、267トン余りとなっています。全てリサイクルしております。

(２)についてお答えします。家庭から排出される古紙は資源ごみとして分別して出すよう案内しており、分別が不十分なごみには回収の際に分別指導のシールを貼って回収を行っておりません。

(３)についてお答えします。古紙の処分については、今年４月からキロ６円で、処理手数料を支払い処分している状況です。以上です。

○議長 玉城 勇君 休憩します。

休憩（午前11時57分）

再開（午後０時57分）

○議長 玉城 勇君 再開します。3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 午前中に一括答弁をいただきました。再質問をさせていただきます。去る8月19日の夕方7時から、中央公民館で南部土木事務所街路公園班による住民説明会がありました。兼城の住民の皆さんです。それには、知念前議長から議員の参加も呼びかけがあつて、議員も参加して、私も参加しました。その当日に配られた資料、計4枚のうちの1枚が、今お手元に、事務局をお願いして配ってもらったA4サイズのカラーの写真を縮小コピーしてお配りしているので、見にくくて申し訳ないのですが、これを基に質問をさせていただきます。まず1つ目の町はどのように、県に対して、南部土木事務所に対して対応してきたかということで伺いましたが、平成10年度に中央分離帯を閉じるという都市計画を町で決定した。しかし、その後平成18年度に、平成16年度の南風原町街並みデザインワークショップの提言を受けて、現在の交差点、私が交差点と呼んでいる箇所です。図面で言うと③のところを開けていくということに、町は改めたわけです。しかし、平成28年度に県は、南部土木事務所、道路管理者と公安委員会は、この交差点を閉めるという方針になったが、町は一貫して閉めないように、南部土木事務所と協議を重ねてきているということです。この平成28年度の協議、道路管理者と県の公安委員会たちの協議には、町は関わってこられたのでしょうか。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 お答えいたします。平成28年度も、道路管理者、県と県公安委員会、道路の交差点協議については、町の職員も同席はしております。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 この当日、8月19日の説明会は僅か1時間、正確には1時間5分の説明で、前半の20分は安全について、日本各地で起きた事故などを例に挙げて、事故の例を集中的に説明して、その後の40分間で意見聴取などをしております。

(2)に行きますけれども、もし、正門前の役場に入る③のところで、そこが閉じられたら、町民の皆さんの役場の駐車場の利用はどう変わっていくのだろうか伺いました。そうすると、④のところが役場前交差点です。左にはちむぐく館、右にはかすり会館です。そこを役場交差点と呼んでいます。そこをUターン、もしくは右折して現在の町民広場への進入になるというお答えです。庁舎の図面の下側にある駐車場には、Uターンですね、下に書きましたけれども、35台分の駐車場がございます。当日、南部土木事務所の説明では、③から④まで車での所要時間が30秒、そして④の交差点でUターンして、役場の下にあるJA役場支店の前の駐車場に入るまでに、当日は36秒という説明をしております。ここで伺いたいのは、南部土木事務所の皆さんは、この④を右折して、現在の町民広場の駐車場の利用を想定しているかどうか分かりますか。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 お答えいたします。南部土木事務所の担当者としても、今議員のおっしゃっていた④の町民広場の駐車場の利用については理解しているものと認識しています。

○3番 岡崎 晋君 理解ではなくて想定しているかどうか。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 想定していると思います。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 私はこの説明会の後に、計三度にわたって、南部土木事務所の担当者に電話で聞きました。当日来ていた班長の話では、私は驚いたのですが、町民広場のところの駐車場の使用は想定していないと答えました。間違いなく。私は念を押して聞いたのです。③から④に至るまでに、この間170メートル、そしてこの間に車10台分、70メートルの右折レーンを設けて、④の交差点でUターンしてJAの前に、車でのことを行っているのです。30秒と6秒というのは。私は、電話では32秒に訂正していましたが、この町民広場の駐車場利用を想定していないと言っていたのです。ちょっと信じられないことだったので、私は念押しして聞きました。ということは、Uターンしか想定していないんですよ。南部土木事務所の皆さんは。

(3)の付近住民の皆さんにどんな影響が生じるか。利便性が大きく低下します。今、話をしている④の交差点のUターン車両が増加することで、交差点での危険が増します。中央分離帯で向こうが閉じられたら、分断されることによって地域の一体感が薄れ、生活環境に影響が出ると考えられます。まさしくそのとおりだと思います。どうして県が、南部土木事務所が町民広場の前の駐車場の使用を想定していないのか分かりませんが、仮に、もしも、③のところが閉じられたとしたら、④から右折して、町民広場に入ってすぐ右側のところは、今閉められていますね。あそこは今閉められていますけれども、その閉められている理由は何でしょうか。

○議長 玉城 勇君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 お答えします。あちらを開放してしまいますと、安全面で、通り抜けがありますので閉鎖しております。以上です。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 多分そうだろうと思いました。

続けて(5)にまいります。歩車分離式信号についてどう考えるか。歩車分離式信号は、交差点で車を完全に停車させて、その間に歩行者の横断をさせるということで、車と歩行者の交差がなくなるから、交通の安全を確保するのに最も有効な制御方式と考えていると

いうお答えです。町内ではどこか設置されていますか。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 お答えいたします。町内では、津嘉山保育園の付近に、歩車分離式の信号機が設置されております。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 それで、今現在話をしているこの箇所にも、この歩車分離式の信号の設置を働きかけていきますか。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 お答えいたします。③の箇所でよろしいでしょうか。町としても、県のほうにも要請いたしておりますけれども、歩車分離式の信号の設置を要請しております。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 ①の、左側でしょうか、現在信号があると思います。この信号の位置も変わると聞いていますが、どのように変わるのでしょうか。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 議員のおっしゃっている①の、これは国道に向かって交差点側に、伊波金物店のほうに信号が設置されておりますけれども、供用開始までには、この信号を池原交差点のほうに移動すると聞いております。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 兼城交差点から④に来るまでに、この方面から来る車が右折もしくはUターンできるのが、もしも③が閉じられたら、その①のあたりに設置される信号だけになるのですか。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 答弁いたします。今のUターン箇所についてですが、兼城交差点から役場向けに行きましたら、最初に池原橋の手前に交差点があります。そこにUターン箇所があります。そして、小学校前の交差点が閉じられますと、役場前の交差

点がUターン箇所ということになります。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 南部土木事務所の皆さんは、中央分離帯でここを閉じることは、安全性、それから走行性、環境面、いろいろなことを総合評価した上で閉めることにしたいと言っております。ここを閉める場合には、どんな方法で閉めると言っていますか。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 お答えいたします。こちらのほうで、県に確認したところによりますと、小学校前の交差点については、ラバー式の、脱着式のポール等で段階を踏んで閉めていくと伺っております。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 いつ頃閉めたいと言っていますか。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 9月には工事の契約を行いまして、10月に分離帯の工事の着手、年内には供用開始と伺っております。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 ここを閉めたいという理由については、先ほど話をしましたいろいろな総合面での評価、そしてもう一つは、南部東線の計画があると。そこが開通したら南城市のずっと先、ニライカナイ橋のあたりから道路がここまで来ると。拡張道路、あるいは喜屋武の南インター、あのあたりの大きい道路が続きますけれども、交通量が増えることが予想されるのでここを閉めたいと言っています。でも、南部東道路ってあと何年かかるか分かりませんよね。10年かかるかもしれないし。あそこからの車が全部ここに来るわけではなくて、インターのほうへ行く車も多いだろうし。ですからここは、まだまだ閉める時期ではないと思っています。役場に来られる町民の皆さんはご存じだと思いますけれども、幼子、乳幼児を抱えたり、連れたりしているご婦人のお客様方、あるいは高齢者の方々が多く訪れています。そういう方々に④のところで、右折でもないですよ、南部土木事務所が言うには。Uターンをさせようとしているのです。危険極まりないですよ。ですから私は、ここは閉めるべきではないと思ってこの質問をしておりますが、町は県に対していろいろと働きかけ、要請なりをしてこられたと思いますけれども、一番新しい動きをお聞かせいただけますか。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 お答えいたします。これは議員もご承知かと思いますが、すけれども、9月11日に各種団体から町のほうに要請を受けております。9月14日に、町は県のほうに要請をしております。それから9月16日には各種5団体から、県議会に陳情を行っているという経過となっております。以上です。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 今後とも、是非強い姿勢で臨んでいただいて、そこが閉められることのないようにお願いいたします。

次の質問にまいります。新型コロナウイルス感染症の影響等について、まずもう一度確認のために教えていただきたいのですが、フレイル・介護予防というのはどういうことでしょうか。教えていただけますか。

○議長 玉城 勇君 保健福祉課長。

○保健福祉課長 大城美恵子さん 身体的筋力低下だったり、あとは精神的に機能が低下していて、全身の体力機能が虚弱化しているという状況です。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 そうですね、まさしく介護にならないように予防していただくことだと思うのですが、今般のコロナ禍で、どのようなことをしていただいているかという質問に対しては、独居の高齢者、あるいは高齢者のみの世帯などに、電話とか訪問などをして、健康状態や生活状況の確認を行うとともに、感染予防に熱中症予防、フレイル予防の資料などを配布しながら情報提供を行っています。地域ミニデイサービスの利用については、スタッフが電話をかけて安否確認、あるいは訪問などを行っていますということで、心強く思います。そこで、私がさらに一歩二歩進んで行くと気になることは、その頻度です。どれくらいできているのか。職員も感染予防のために訪問などを控えたりするのではないかと思います。訪問の頻度、あるいは実際に手助けなどをしてあげるということは、3月以前に比べてどんな状況でしょうか。

○議長 玉城 勇君 保健福祉課長。

○保健福祉課長 大城美恵子さん 訪問の頻度は、それぞれ高齢者の状態、状況によって変わっております。1回訪問をして、それでフレイル予防や熱中症予防、感染予防等がしっかりできている方については、1回の訪問、情報提供で終わっておりますが、訪問したときに、やはり気になる高齢者については、また再度訪問をしたりということは、高齢者一人一人、状況によって対応しております。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 訪問をする回数は減っていないというお答えですか。

○議長 玉城 勇君 保健福祉課長。

○保健福祉課長 大城美恵子さん 訪問する回数を一律に決めているわけではございません。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 例えば私の住んでいる新川の例では、4人いるべき民生委員は今2人しかいないので、新川区内の情報がなかなか、2か月に1回ある協力員の会議もできていない状況なので、新川のどこで誰が困っているか、なかなか情報が上がってこない。コミュニティソーシャルワーカーの方は、先週日曜日、区内のある家庭の引っ越しを手伝っておりました。事前に食器を詰め込んだり、当日は搬出、掃除などのお手伝いをしていました。そういう細かな情報が、どこで誰が困っているか分からない状況で、訪問の頻度について、減っていないかという私の懸念なのですが、なかなかよく分からないんですね、今の答えでは。一様に決めているわけではないと。実際に、一様に決めていなくても、3月以前に比べてどうなのでしょう。

○議長 玉城 勇君 保健福祉課長。

○保健福祉課長 大城美恵子さん コロナの感染症が起こって、訪問については電話で対応したりということで減ってはおりますけれども、必要な方については訪問の制限はしておりませんので、必要な方についてはしっかり訪問をしております。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 分かりました。心強く思います。同じ問題で、事業者の方々、サービスとか事業者の皆さんが町内にいます。そういう方々が、このコロナ禍で利用人数が減って収入が減って、困っている事業者もあるのではないかと思いますのですが、全部を調べるわけにはいかないと思うのですが、皆さんのところに入ってくる情報、あるいはヒアリングされた情報などでは、事業者の皆さんの状況はどんな具合でしょうか。

○議長 玉城 勇君 保健福祉課長。

○保健福祉課長 大城美恵子さん 介護サービス事業所、16事業所に確認いたしましたところ、収入はやはり幾らか減っていますけれども、経営状態が悪化するというほどではな

いというお答えでした。1か所はちょっと厳しいですというのがありました。これまで、役場のほうに経営状態が厳しくて、事業者のほうから相談があるということはまだございません。以上です。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 事業所から相談がないということが、私は気になるのですが、彼らは直接県や国の窓口相談しているのかとも思いますけれども、私が聞いた事業所では、約3割の収入源だと。3割収入が減っても、持続化給付金を申請するにはその資格がない。あるいは家賃補助を受けるための助成をしようと考えても、ぎりぎりの時点でその資格がないということを言っていました。雇用調整助成金だけは受けられていると。だけどほかの支援金が受けられないと。それで、規模を縮小してでも来年以降も何とか続けていきたいと、この事業所は話をしていました。そういう事業所がほかにも町内にはあるのではないかな。そういうところの相談を待つだけではなくて、皆さんのほうから電話なり、声をかけていただければ、事業所の皆さんも心強い思いを思うのですが、ただ、皆さんができることはここまでというのがあると思います。下手に電話したり、訪問したりして声をかけてやぶ蛇をつつくようなことになりはしないかということもあるかもしれないけれども、それはそれできちんと線引きをしておいて、そういう事業所の皆さんを励ますことをしていただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

○議長 玉城 勇君 保健福祉課長。

○保健福祉課長 大城美恵子さん 事業所がこのコロナの時期で大変厳しいというところは認識しております。私たちも事業所の声を確認しながら、できるところは支援していきたいと考えております。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 おのおのの事業者には、町内だけの利用者だけではなくて町内外から来ますけれども、町内にある事業所が閉まったり、縮小されたりしたら町民も困るだろうという観点で質問しています。是非、引き続き皆さんへの支援をよろしく願いいたします。

次に(2)のインフルエンザについて伺います。10月1日からということではもう聞きましたが、現在の状況を教えてください。

○議長 玉城 勇君 国保年金課長。

○国保年金課長 高良星一郎君 お答えします。10月1日現在7,704名の対象者がおりまして、その方に通知を送っております。以上です。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 通知を出したのですか。

○議長 玉城 勇君 国保年金課長。

○国保年金課長 高良星一郎君 先週金曜日に通知を送っております。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 私は対象者だと思うのですがまだ届いていません。65歳以上のインフルエンザ予防接種については、3月定例会の一般会計予算で、これまで続けていた1,000円の補助をなくすという予算案がありました。総務民生委員会では、反対の方もいまして、反対討論もありました。この本会議でも反対者がいて、本体討論もございました。補助をなくすことについて。なくした途端にこういうことになってしまっ、那覇市はまたこれを復活していますね。費用を全額助成すると。小学校2年生以下も含めて。このことについては、私は何らかの形で補正をしてくれるのではないかと、知念部長とか高良課長が補正をしてくれるのではないかと期待をしていたのですが、これがなくて残念に思っているところです。去年まで無料でできたことが、1,000円を負担させることによって、インフルエンザの予防接種率が落ちないかという懸念でこの質問を伺っているのですが、去年の実績と、今の七千幾らかの人数、対象者の70%の人が予防接種を受けるとしたらどのぐらいの費用がかかりますか。全額で。

○議長 玉城 勇君 国保年金課長。

○国保年金課長 高良星一郎君 ただいまの条件に合うような計算で算出いたしますと、2,943万円かかります。以上です。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 令和元年度の成果に対する報告書のコピー、53ページを持ってきたのですが、予防接種事業には1億7,400万円余りかけています。このうち国庫支出金が1%、一般財源が99%となっています。このほとんどの費用を自分たちで負担するのかという思いがあるのですが、地方交付税措置もあると聞いていますが、99%を払う分のどのぐらいが後で措置されるのでしょうか。もし教えていただけるのであればお願いします。

○議長 玉城 勇君 企画財政課長。

○企画財政課長 与那嶺秀勝君 お答えします。議員がおっしゃっている令和元年度の予防接種の項目を見ているのですが、風疹、B型肝炎、結核、インフルエンザ、肺炎球菌、子宮

頸がん等、個別の措置額については算出できませんが、予防接種に係る交付税措置は、保健衛生費の項目に含まれており、保健衛生費の基準財政需要額の総額が3億5,827万4,000円となっております。以上です。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 町で払う1億7,400万円のうち、どれぐらいが措置されるのかということは分からないということですか。

○議長 玉城 勇君 企画財政課長。

○企画財政課長 与那嶺秀勝君 各項目ごとでの算出はできません。以上です。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 10月1日から始まる予防接種をどのように促進するかという私の質問ですが、今、いろいろな放送をしています。このスピーカーの放送に対して苦情は寄せられますか。いろいろな放送をたくさんやっていますが、町民から苦情は寄せられていますか。

○議長 玉城 勇君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 お答えします。放送に関しての苦情は特にございません。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 私は幾つか、あるいはたくさん苦情があるかと思っていましたが安心しました。それで、このインフルエンザの予防接種の呼びかけをホームページとかいろいろな手段で、通知書とかで知らせるとありますけれども、放送で呼びかけるということは考えられないでしょうか。このコロナとインフルエンザと危険なものが2つありますので、その放送の考えはありませんか。

○議長 玉城 勇君 国保年金課長。

○国保年金課長 高良星一郎君 この無線による呼びかけも検討させていただきます。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 これまで払わなかった1,000円を払うということで受けないという方も、尻込みする方もおられるかもしれないので、是非お願いしたいと思います。

次に失業者対策で、どの職種で何名採用したか。一般事務職員2名とございます。応募状況とか、あるいはこの2名に係る人権費、費用はどちらから出るのでしょうか。あるいは今後の募集状況はどのようなものなのでしょうか。

○議長 玉城 勇君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城克彦君 応募状況ですけれども、採用したのは2名ですけれども、問合せ等は8名来ています。実際、採用に至ったのが2名ということです。今後の状況ですけれども、予算は12名分確保されていますので、来月、再来月、年度までは様子を見て、その状況がまだ定員に達しない場合には、またその辺については検討しないといけないと考えております。状況ですけれども、実際、町で予定していた人数よりも若干少ないと思っていますけれども、それは今、お話を聞いてみると、読み上げます。「新型コロナウイルス感染等に対応するための雇用保険等の臨時特例に関する法律」というのができまして、これは失業手当とかそういうものに関するものの法律なのですが、今問合せが来た方が、臨時的に職を探すのか、失業手当を受けたほうがいいのかということで、皆さん、その辺を思っているような感触があります。以上です。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 ありがとうございます。次にまいります。はえるん商品券、プレミアム商品券の販売状況、利用状況、100%増えています。25日現在で換金率58%、私が想像していたよりもかなり進んでいるという思いがします。前回、産業振興課長が言っておられましたが、このことでどのくらいのお金が町内で動く。第1期販売、第2期販売合わせて、もう一度教えていただけますか。

○議長 玉城 勇君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城克彦君 第1弾は既に完売していますので、総販売、額面が8,000万円となりますので、町内で8,000万円の経済効果があると期待しております。第2期ですけれども、第2期は約2億円を予定しております。以上です。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 もっとないですか。5,000円分のチケットを合計で4部、第1弾、第2弾合わせて、1万5,785世帯ですよね。全部完売したんですよね。これが全部利用されたらもっといかないですか。

○議長 玉城 勇君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城克彦君 第1弾については、1世帯当たり5,000円ですので、これ

が1万6,000世帯でしたので8,000万円になります。今回、第2弾が同じ5,000円のを、次は町民の方になりますので、約4万人いますので、4万人の5,000円ということで2億円ということになります。第1弾、第2弾の合計で2億8,000万円ということになります。以上です。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 私の単純計算では、5,000円として3億1,500万円が動くという計算ですが、後でまた確認させてください。

次の質問です。家庭ごみのことについて。補正予算で301万8,000円が用意されています。このうちの267等分が処分費用として使用されたという理解でよろしいですか。

○議長 玉城 勇君 住民環境課長。

○住民環境課長 宮城広子さん お答えします。こちら、先ほど答弁しましたものについては、今年4月から8月までの量だったのですが、補正予算に計上したものは、これから出るであろうという、10月から来年の3月までのもので計上しております。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 すみません、時間配分を間違えてよく聞けません。そうすると、9月以前の費用はどうだったのでしょうか。

○議長 玉城 勇君 住民環境課長。

○住民環境課長 宮城広子さん 9月分までのものは160万3,920円になっております。補足します。その分については、別のものから流用をして対応しております。

○議長 玉城 勇君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 すみません、この件については、後日ほかの議員の皆さんが質問されると思いますので、私の質問はここまでとさせていただきます。すみませんでした。ありがとうございました。

○議長 玉城 勇君 岡崎 晋議員、ちょっと待ってください。先ほど、まちづくり振興課長より説明がありましたけれども、交差点の件で補足説明があるようでございますので、これを許します。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 補足で説明したいと思います。先ほど回答の中で、都市計画決定ということで、町決定という誤解を招く可能性があったので、この決定については県決定です。都市計画決定については県の決定ということになります。それから平成28年度の公安との協議ですけれども、平成28年度は道路管理者の県と公安委員会の交差点協議を行っている。この協議の結果は、閉口するという方針を受けて、その後に平成30年度に道路管理者の県と、それから南風原町と、うちの職員も同行して、県のほうに、開口についての協議といいますか、申出を行っているということになります。以上です。

改めてまた回答します。平成28年度の協議においては、本町は協議に同行しておりません。